

NHK 仙台放送局の災害報道勉強会に講師として参加しました(2017/07/11)

テーマ：東日本大震災、災害報道、DMAT
場所：NHK 仙台（宮城県仙台市青葉区）

2017年7月11日（火）、NHK 仙台放送局にて、同局職員を対象とした災害報道勉強会が開催され、佐々木宏之助教（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）が DMAT（災害派遣医療チーム）の資格を持つ講師として参加しました。同勉強会の目的は、東日本大震災から6年が経過した現在、報道関係者が改めて震災の教訓と災害報道現場における課題を考え、DMATの知見やノウハウを報道現場に生かせないか考えることです。

まず、約25名の参加者に向けて、佐々木助教がDMATについて概略や特徴を説明しました。DMATの大きな目的の一つは、「防ぎえた災害死」が起きないように、災害現場に赴き重傷者の命をつなぐことですが、そのためには平時からの訓練や関係者との連携、有事の際の迅速な判断・行動と情報共有等が必要です。佐々木助教の講義に続き参加者はワークショップを行い、今後巨大地震が起きた際の課題と改善策を具体的に考え出し合いました。それを受け、佐々木助教はDMATの事例に即して適宜コメントを行いました。勉強会の後、参加者からは、DMATのような統合的な情報共有システムがあれば役立つのでは、など感想が寄せられていました。



講義の様子



DMATの装備について説明



ワークショップ

文責：佐々木宏之（災害医学研究部門）、
中鉢奈津子（広報室）